

# 1400年に向けて、地域とともに

開山1300年を迎え、観光面では大きな盛り上がりを見せた六郷満山ですが、国東半島にも人口減少の波が押し寄せ、寺院を支える地域コミュニティは今後のあり方を模索しています。六郷満山の代表的な寺院である両子寺も例外ではありません。開山1300年を振り返りながら、次の1400年に向けて寺院と地域はどのようにして進んでいくべきか。両子寺の関係者にその思いをお聞きしました。



寺田豪淳さん  
(両子寺副住職)

—開山1300年を振り返っての感想をお聞かせください。

**寺田さん** 県内外から多くの参拝者にお越しいただきましたが、福岡・北九州方面からの参拝者が特に増加した印象があります。色々なメディアで六郷満山開山1300年事業が取り上げられた効果だと思えます。みなさんに六郷満山を知ってもらえたことが、何より嬉しいですね。

**吉水さん** 峯入体験ツアーが実施された際、地元の人々でお接待(おもてなし)をしました。ツアー客に話しかけてみると関東、関西からの参加が多く、中には複数回参加してくれている人もいました。六郷満山開山1300年の情報が遠方まで届いていることを実感しました。

**新田さん** 国東半島には六郷満山をはじめとする伝統文化や美しい自然が残っています。昔ながらの「一人の心」を感じることができる場所です。国東半島の魅力に多くの人々が触れるよい機会になったのではないのでしょうか。定期的

に両子寺にお参りしていますが、観光客が多くなっていると感じました。

—みなさんにとって、六郷満山寺院とはどのような存在でしょうか。

**吉水さん** 国東半島を代表する観光資源であり、1300年の歴史を持つ地域の自慢です。個人的には生まれてから亡くなるまで、人生を通じてお世話になる場所であり、日常生活と密接に関係しています。



新田淳菜さん  
(移住者・パン屋経営)



吉水國人さん  
(両子寺総代長)

**新田さん** お寺は檀家さんが行く場所だと思っていました。ところが両子寺に行ってみると「いつでもお参りしてください」と言われ、お寺のイメージが変わった。歴史があるのに誰にでもオープンなところに、懐の深さを感じます。移住者の視点で見ても、六郷満山寺院は国東の文化、霊的な雰囲気を感じることができる素晴らしい場所。国東半島への移住を検討している方は、ぜひ訪れてほしいです。

**寺田さん** 長い歴史を持つ六郷満山寺院は、人々にとって信頼でき、安心できる存在ではないでしょうか。その上で寺院は「地域の人々をつなぐ場所」でありたいと思っています。人口減少が問題となっている国東半島ですが、幸いにも都会から多くの方が移り住んでくれるようにな



「地域あつての寺院。地域と支え合いながら共に歩んでいきたい」

寺田さん

「開山1300年を機会に、みんなで結束して地域づくりを」

吉水さん

「地域の人々が守ってきた文化を、100年後に向けても守るお手伝いができれば」

新田さん

りました。地元の人々と移住者をつなぐ役割も果たしていきたいと考えています。

「100年後の1400年に向けて、みなさんが大事だと思ふことを教えてください。」

**新田さん** 国東に移住して、パン屋を開業しました。そのきっかけとなる人に出会ったのが両子寺です。人との出会いや、学ぶ機会を与えてくれたのが寺院。近年は災害や犯罪など心が痛む

ことが多いですが、六郷満山は「心休まる聖域」として言葉では言い表せない安心感もあります。地域の人々が1300年もの長きに渡り守ってきた文化にはかけがえのない価値があり、移住者の私には非常に魅力的に映りました。100年後に向けて、この魅力を守っていくお手伝いができればと思います。

**寺田さん** 「地域あつての寺院」という気持ちを常に持っています。地域コミュニティを守ることも、次の1400年につながる。地域の人々と一緒に「新しいことを考えること」と「これまでを守ること」の両方に知恵を絞っていかなくてはなりません。また、六郷満山は行政区域を超えた「広域の寺院集合体」として今日まで形が残っていることが特徴で、全国的にも非常に珍しいケースです。この歴史文化を守り継ぎ、地域と支え合いながら共に歩んでいきたいと思っています。

**吉水さん** 田舎で育った人は、都会に住みたい。一方で、都会で育った人は、素朴な国東に魅力を感じる。また、都会に出つつも国東に戻りたいと思う人も大勢いるのではないのでしょうか。六郷満山開山1300年を通じて、改めて国東の魅力に地域の人々が気づいたはず。寺院も含め、みんなで結束して地域づくりに努力し「国東に住みたい人」を受け入れる土台を築いていく必要があります。開山1400年は、地域づくりにかかっていると思いますので、みんなで力を合わせて取り組みましょう。